

2025年度  
第51回 北海道指定図書 読書感想文コンクール

# 北海道指定図書

●北海道の先生がおすすめする本を読んで、読書感想文を書こう！

北海道学校図書館協会

## 小学校低学年

上段:選定部によるコメント  
下段:メーカーによるコメント(e-honサイトorメーカーサイトより)  
発行年月 ISBNコード


<p><b>なんていいひ</b></p> <p>リチャード・ジャクソン/文 スージー・リー/絵 東 直子/訳</p> <p>小学館 1,980円</p>		<p>雨の日だけど、音楽をかければ、なんていい日……。傘を持って、くるくる踊れば雨の中で気分は最高、子どもたちがはじける。わいわい生きている！なんていい日。気持ちが晴れになり、感性をくすぐる絵本。</p> <p>子どもの生命力あふれる「うつくしい一日」 雨が降る中、子どもたちは踊ったり歌を歌ったりと大はしゃぎ。傘を差しながら、外をたのしそうにお散歩します。すると、だんだん雨も止み、子どもたちのまわりがスージー・ブルーに包まれていきます。どんなときでも生命力があふれる、子どもたちの姿が気持ちいい1冊。</p> <p>2024.2 978-4-09-725244-3</p>
<p><b>チョウになりたい</b></p> <p>マルク・マジスキ/作・絵 吉井 千代子/訳</p> <p>金の星社 1,760円</p>		<p>誰に何を言われても、自分の「好き」を大事にする。応援してくれる人がいれば、それができるからー(帯より) 自分らしくありのままにというメッセージにあふれた絵本。</p> <p>好きなチョウの衣装で出かけた男の子。他の子たちからかわれ、衣装も壊されて家に戻った男の子を、パパは優しく抱きしめる。力をもらい男の子は再び衣装を着て外に出ると、今度は自分の好きに羽を広げ、チョウになりきるのだった。</p> <p>2024.9 978-4-323-07570-9</p>
<p><b>くじらのいるこみち</b></p> <p>塩野 米松/文 はた こうしろう/絵</p> <p>農山漁村文化協会 1,650円</p>		<p>「へたさん」が大事に守ってきた家の前の土の道には、花が咲き、虫たちも集っている。越してきたゆかちゃんは水たまりができる土の道が大好きで…。</p> <p>家の前の土の道。花が咲き、チョウが舞う。引っ越してきた由佳ちゃんは、そこでへたさんと出会う。雨の後、水たまりで起きたすてきな出来事とは。</p> <p>2024.11 978-4-540-24118-5</p>
<p><b>ぞうのうちはまわる</b></p> <p>重松 彌佐/文 しろぺこり/絵</p> <p>新日本出版社 1,540円</p>		<p>地球に優しいぞうのうち。これは、札幌円山動物園の4頭のゾウが出す400kgのうんちが堆肥に変わるSDGsのお話。</p> <p>ここは札幌市円山動物園。人気者はミャンマーからきた4頭のアジアゾウと夏にうまれた赤ちゃんぞうだ。1日のうんちの量は4頭でなんと400キロ。動物園ではこのうんちを堆肥に変えている。園内には緑が青あおと茂り、野菜が育つ。野菜は動物たちのえさになる。これが動物園のSDGs。</p> <p>2024.6 978-4-406-06789-8</p>

## 小学校中学年

<p><b>いつも仲間といっしょ エナガのくらし</b></p> <p>東郷 なりさ/作 江口 欣照/写真</p> <p>文一総合出版 2,200円</p>		<p>あまり知られていない、エナガのくらし。家族、親せき、ほかの種類の鳥たちとも！？仲間とくらすその理由が分かります。 「命のつながり」シリーズ ⑦</p> <p>北海道にすむ大人気のシマエナガではなく、本州より南にすむエナガの写真絵本です。エナガは体が小さく、日本国内で見られる野鳥では最小級。もふもふとした羽毛がかわいいと人気ですが、どんなくらしをしているのかは、あまり知られていません。家族だけでなく、親せきや、ときにはほかの種類の鳥たちともいっしょに行動します。仲間がいなくては生きていけない小鳥、エナガ。その一年のくらしを紹介します。</p> <p>2024.10 978-4-8299-9021-6</p>
<p><b>動物の義足やさん</b></p> <p>沢田 俊子/文</p> <p>講談社 1,650円</p>		<p>動物のための義足や体を支える装具を専門に作る島田さんが救った動物たちのノンフィクションの物語。</p> <p>動物たちが、もう一度自由に動けるように手助けができれば。そんな思いで、動物のための義足や、体を支える装具を専門に作っている人がいます。その人、島田旭緒さんが作った装具は、なんと3万匹分！どんな動物たちに、どのような装具を作ってきたのでしょうか？</p> <p>2024.6 978-4-06-535730-9</p>

<h2>タケシのせかい</h2> <p>室井 滋/文 長谷川 義史/絵</p> <p>アリス館 1,650円</p>		<p>パパの部屋にある秘密の箱を、こっそり開けてみたら手紙が入っていた。パパのQに答えるうちに、「一人一人違っていい」ことに、タケシは気づいていく。</p> <p>パパの部屋にある、秘密の箱。こっそり開けてみたら、そこには手紙が入っていた。タケシの世界、ヒカルくんの世界、ミカちゃんの世界…。みんなの世界は、どんな世界？</p> <p>2024.6 978-4-7520-1102-6</p>
--	--	--


### 小学校高学年

<h2>ブルーラインから、はるか</h2> <p>林 けんじろう/作 坂内 拓/絵</p> <p>講談社 1,540円</p>		<p>夏休みに入った図書館で、小6のコタは小4の風馬に声をかけられた。「自由研究を手伝ってほしい」と。広島県のしまなみ海道ブルーラインコース往復140kmと一緒に自転車で走ることになった二人の冒険物語。</p> <p>「もしひまだったら、ぼくの自由研究につきあってほしいんだ」ママチャリとクロスバイク。小6と小4。広島県・尾道市から愛媛県・今治市までをつなぐ、全長70kmのしまなみ海道ブルーラインコース。 夏の日、自転車で往復140kmを走破できるかー。</p> <p>2024.5 978-4-06-535558-9</p>
---	---	--

<h2>ぼくとロボ型フレンド</h2> <p>サイモン・パッカム/著 千葉 茂樹/訳</p> <p>あすなる書房 1,980円</p>		<p>過去のいじめがきっかけで、パニックになってしまうことを克服しつつあったジョシュ。そんな中、母の都合で引っ越しすること。次の学校で友達になったのはなんとロボット。少しずつ心をかよわせ友達となっていく、笑って泣けるサバイバル学園ストーリー。</p> <p>ジョシュは小学6年生の男子。心配性の性格から、学校ではうまく立ちまわれないことも多かった。そんなジョシュが転校先で出会ったのは、遠距離学習用のロボットで授業に参加するチャリーだった。学校生活になじめないジョシュとチャリーは、過去のトラウマを乗り越え、友情を育んでいく。</p> <p>2024.11 978-4-7515-3227-0</p>
---	--	--

<h2>ぼくたちのことをわすれないで</h2> <p>ロヒンギアの男の子ハールンのものがたり</p> <p>由美村 嬉々/作 鈴木 まもる/絵</p> <p>佼成出版社 1,650円</p>		<p>ミャンマーのラカイン州に暮らす少数民族、ロヒンギアの男の子ハールン。2017年8月、国内で大規模な迫害を受け、バングラデシュの難民キャンプにたどり着いた。ハールンの言葉を通して、ロヒンギアの人たちに起きたこと、難民キャンプでの子どもたちの現状を伝えている。「世界で最も迫害された少数民族」と呼ばれる人々からのメッセージ。</p> <p>少年の瞳の奥にやどる哀しみ……その理由とは。「世界で最も迫害された少数民族」と呼ばれる人々からのメッセージ。</p> <p>2024.6 978-4-333-02924-2</p>
---	--	---

### 中学校

<h2>わたしは食べるのが下手</h2> <p>天川 栄人/作</p> <p>小峰書店 1,760円</p>		<p>食べることは生きること。でも、食べられない子、食べたくない子、もっと食べたい子、事情は様々。中学一年生の葵と咲子は「全員完食」の給食の革命をしようと行動を起こす。</p> <p>少食で食べるのが遅い葵は、食事の時間が苦手。とくに給食は…。「小林さんさ、たぶん君、会食恐怖症だわ」無理に油淋鶏を飲みこんで気持ちが悪くなった葵は、保健室でクラスの問題児、咲子にそう言われる。実は咲子も、食にかかわるある悩みを抱えていた。そんな二人は、新任のイケメン栄養教諭に焚きつけられて、給食改革に乗り出すことに…。わたしたちが望む給食って、いったいどんなだろう？</p> <p>2024.6 978-4-338-28728-9</p>
--	---	--

<h2>光の粒が舞いあがる</h2> <p>蒼沼 洋人/著</p> <p>PHP研究所 1,430円</p>		<p>母子家庭の心愛。父子家庭のこはく。二人の少女の迷いと悩みと憧れが、ボクシングを通して紡がれる。二人を取り巻くクラスメイトや大人たちの成長物語でもある。</p> <p>母親と二人暮らしの心愛。放課後や休日を犠牲に家事の手伝いに励むなか、同い年の女子ボクシング選手・こはくと出会い……。 あの子みたいに、強くなれたら。だれかと出会うこと。あこがれること。勇気をもって向き合うこと。そうしてひとは、強くなる。母子家庭でどんなことにも打ち込めない心愛。父子家庭でボクシングにしか打ち込めないこはく。対照的な少女ふたりの出会いと成長を描いた青春小説。</p> <p>2024.7 978-4-569-88174-4</p>
--	---	---

「北海道指定図書ブックリスト」

(税込価格で表示)

ブックリストへの掲載は、各出版社にその都度必要に応じて許諾申請をしています。

表紙画像とコメントは、e-honサイトから転載しています。  
(画像が鮮明でない場合は、メーカーサイトから転載する場合があります)